

## 平成26年度 彦根統合新校設置懇話会 第2回会議 概要

### 1 日時

平成26年8月29日（金） 13:30～15:00

### 2 場所

湖東合同庁舎1-A会議室

### 3 次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 意見を伺う事項  
統合新校の校歌、校章、制服の選定について
- 4 その他
- 5 閉会

### 4 出席者

#### (1) 委員

- 磯谷 直一 委員（彦根市企画振興部 部長）  
杉本 定幸 委員（彦根翔陽高等学校同窓会 会長）  
福渡 努 委員（滋賀県立大学人間文化学部 教授）  
藤田 隆行 委員（彦根西高等学校同窓会 会長）  
宮野 由紀絵 委員（彦根西高等学校 学校評議員）  
八谷 啓子 委員（彦根翔陽高等学校 学校評議員）  
\* 岡崎 正彦 委員（彦根市PTA連絡協議会 顧問）は欠席

#### (2) 統合新校開設準備室

- 茶谷 不二雄 統合新校開設準備室長（彦根翔陽高等学校長）  
片岡 幸一 統合新校開設準備室主査（彦根西高等学校教頭）  
森田 恭司 県教育委員会事務局学校支援課参事

### 5 主な意見

#### (1) 統合新校の校歌の選定について

- 選定方法として、①「作詞・作曲とも公募」、②「作詞は公募・作曲は依頼」については、妥当であると思うが、③「作詞は公募、曲は彦根西高校の曲を継承する」という案については、今回の統合は対等統合であるということから考えると、公平性に欠けるものとする。
- 彦根西高校の作曲者は大変著名な方であり、③も残すべきではという意見を受けて案に残した。
- 彦根西高校関係者の思いとしては、曲を残せる方向での検討も考えて欲しい。
- 作詞は公募、作曲は技術を要するということもあるので、それなりの方に依頼した方が良い。
- 作曲については、対等統合を前提とした校歌となるよう、今回いただいた意見も参考にして、準備室からしかるべき方に依頼してほしい。
- 曲調は彦根翔陽の校歌が現代風で良いという意見や、学びの場にふさわしい静かな曲が良いという意見もあり、どちらが良いというのは難しい。

- 作詞は公募、作曲は依頼することで良い。著名な方に作っていただくと、話題性が生まれると思う。彦根出身の著名人もいるので、もしそうなれば、新校のイメージアップにつながると思う。

## (2) 統合新校の校章の選定について

- 校名の場合と同様、公募を実施する予定である。ただし、公募方法については、できるだけ公募数を増やしたいので、公募条件はできるだけ外して実施したい。
- 選定の際には、デザインに何か条件を提示した方が都合が良いとも考えられる。
- 公募について、より周知していただくために、両校のHPにとどまらず、彦根市の広報誌、県内民放テレビやNHKまたラジオFM放送に対して資料提供をしてはどうか。
- 滋賀県立大学には、デザインを専攻する学科がある。校章作成に興味を持つデザイン学科の学生に依頼することも可能である。
- 公募については、地域の小中学校にも関心をもってほしいので、小中学生も応募することができるようにして、新校に親しみを持ってくれる方法を検討してほしい。
- CGでの公募もありうる。手書きとの差が生じることも想定しておくべき。
- 公募作品のデザインについては、盗作の危険性があるので、類似をどこまで認めるか検討しておいた方がよい。

## (3) 統合新校の制服の選定について

- 制服のオリジナリティやかわいらしさは、特に女子生徒が高校選びをする際の要素の一つである。学校選択の一つの材料となりうる制服にしてほしい。
- 制服の購入費は、保護者にとって大きい問題。
- 女子の制服については、リボンの着用とともにネクタイの着用も人気がある。
- 男子の制服については、詰襟でも良いと思う。
- 彦根翔陽の制服は、近年何度も代わっているの、そういうことのない選定をしてほしい。
- 生徒の意見では、夏用のズボンは暑く、着心地が悪いと聞く。生地や色合いなどを考慮してほしい。開襟シャツやポロシャツ、半ズボンなども検討してほしい。

## (4) その他

- 総合学科の普通系列は、他の系列や普通科の高校と比べると、特色やアピールポイントが見えにくい。卒業後に明確な目標が見える系列を設定してほしい。
- 生徒に将来の道筋をつけてあげられ、社会に責任をもって送り出せる学校づくりをお願いする。
- 大学の立場から、大学入試を考える高校生については入学試験に対応できる、あるいは入学後に大学の授業に耐えうる学力を在学中に身につけてほしい。
- 9学級の定員を確保するため、地域の中学生が入学してくれるよう、地域と連携した取り組みが必要。彦根という郷土から優れた人材を輩出してほしい。
- 広い地域からも生徒に来てもらえる、部活動、特にスポーツに魅力のある学校づくりが良いのではない。例えば、女子サッカー部などを創ってはどうか。進学にもつながるはず。
- 依然として、彦根西高生として入学しても、彦根翔陽高生あるいは新校生として卒業するという誤解をもった中学生や保護者、中学校関係者がいるので、統合の形態を周知徹底する必要がある。
- 3校同一校地での統合には反対する。
- 平成28年度は、現在の彦根翔陽高校の生徒数の1.8倍になり、彦根翔陽高校前の道路・近江鉄道やJRの踏切等の交通渋滞や事故が心配である。
- 工事が未完了であることから通学時の安全面や教育環境に不安があり、平成28年度に3校が一緒になることは無理があるのではない。